




## 早稲田大学におけるOCWの活用 —導入状況と今後の課題—


早稲田大学  
遠隔教育センター  
2009年8月8日



## 1. 早稲田大学におけるOCWの取り組み

- 2006年より「早稲田大学OCW(WOCW)」を導入
  - 三大教旨「学問の独立」「学問の活用」「模範国民の造就」
  - 早稲田大学の教育のオープン化 および 世界規模教育ネットワーク構築への貢献を目的とする。
  - 社会貢献活動・広報媒体と位置付けて運用
- 主幹箇所「早稲田大学遠隔教育センター」
  - 早稲田大学におけるeラーニングを主導
    - 通学制／通信教育課程におけるオンデマンド授業の運用  
⇒全学にて約900科目を正規科目にて実施
    - ネットワークを活用した海外との遠隔共同授業の運営  
⇒24カ国・地域、86大学・機関との交流実績
  - APRU DLI 2008を開催／OCW早慶学長対談実施

Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved.




## 2. WOCWの特徴

- シラバスシステムとの連携
  - 授業担当教員がシラバスシステムから教材を公開できる仕組みを備えている。
- Course N@vi(学内LMS)との連動
  - LMSとシラバスシステムを連動させることで授業担当教員は、いつでも担当科目に対し直接教材をOCW上に公開することができる。

Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved.

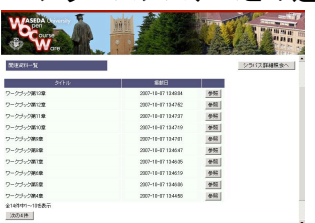
## • シラバスシステムとの連携



- ◆ WOCWトップページ  
(<http://www.waseda.jp/ocw/indexj.html>)
- 教材を公開している科目が設置学部毎に掲載されています。
- ◆ 科目シラバス画面
- 科目に対して登録されている関連資料を開くことができます。

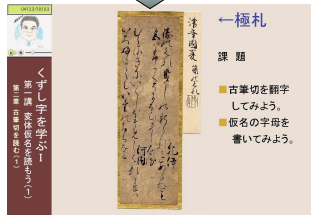
Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved.

・ シラバスシステムとの連携



◆ 関連資料一覧画面

・ここから参照したい授業資料を選択し、閲覧が可能です。

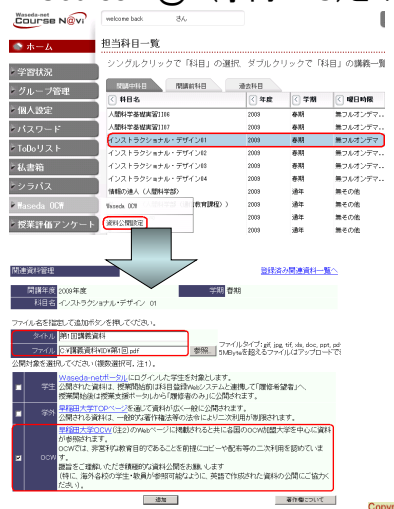


◆ 教材閲覧画面

・教材は、授業資料のWordファイル、PDFファイル、PowerPointファイルです。  
 ・オンデマンド授業コンテンツや動画を掲載している例もあります。

Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved.

・ Course N@vi(学内LMS)との連動



◆ Course N@vi

・担当科目の一覧からOCW資料公開設定が行えます。

◆ 資料公開設定画面

・選択した科目に対して登録したい資料を選択しOCWへ公開できます。

Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved.




### 3. 特徴的なコンテンツ(1)

『World Englishes and Miscommunications』  
 (教育・総合科学学術院 中野美知子教授)

- **アジア圏複数の大学との国際遠隔共同授業**  
 アジア各国の英語の特徴と差異を明らかにするため参加各国の教員がオンデマンド授業を行い、授業の内容をもとに、遠隔TV会議で学生が議論を行う。  
 (2008年度実績 海外(8大学):240名、早稲田:50名、計290名)
- **各国の参加教員が行うオンデマンド授業の資料をOCWで公開(この科目だけで144資料を公開)**



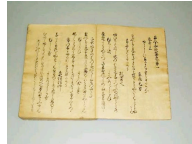
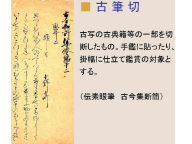
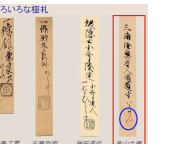

Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved.



### 3. 特徴的なコンテンツ(2)

『くずし字を学ぶ』  
 (文学学術院 兼業信行教授)

- 各時代の文字の特色や、書写上の要点を説明する。
- 通常は手に取って見ることのできない貴重書をPC画面で見られるなど、オンデマンド講義ならではの恩恵が受けられ、毎年約400名が履修する人気科目。
- 海外の日本文学研究者からの評判も高い。

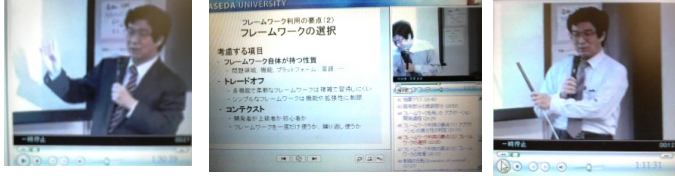
Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved.

**DLC**  
DISTANCE LEARNING CENTER  
早稲田大学遠隔教育センター

### 3. 特徴的なコンテンツ(3)

『ソフトウェア開発工学特論』  
(理工学術院 深澤良彰教授)

- 「先端ITスペシャリスト育成プログラム」対象科目で慶應義塾大学、中央大学にも同時ライブ配信された講義。
- 教材ではなく、教室でのライブ授業そのものの様子を動画で配信している点が特徴。

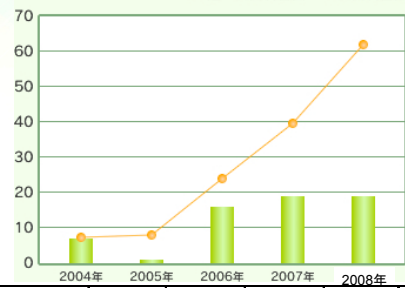


Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved

**DLC**  
DISTANCE LEARNING CENTER  
早稲田大学遠隔教育センター

### 4. 運営状況と今後の展望(1)

- 訪問者数の状況 ⇒ 月間平均 約20,000アクセスで推移
- 公開科目数の推移 ⇒ 2008年度終了時 64正規科目を公開



年度	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年
遅べ公開科目数	7	8	24	43	64

Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved

**DLC**  
DISTANCE LEARNING CENTER  
早稲田大学遠隔教育センター

### 4. 運営状況と今後の展望(2)

- WOCW運営上の今後の課題
  - **過年度コンテンツの公開の推進**  
早稲田大学ではオンデマンド授業がもとより浸透しておりOCWIによる教材公開が、授業コンテンツそのものを公開することと捉えられ、教員の抵抗感が強い。  
⇒既に授業で試用されていない過去コンテンツを中心に一般公開を薦めていく。
  - **教員のOCW活動への理解を促進**  
現在は理解のある教員からの限られた協力のみで運営。  
⇒社会貢献というOCW本来の意義への理解を促進する。

Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved

**DLC**  
DISTANCE LEARNING CENTER  
早稲田大学遠隔教育センター

### 4. 運営状況と今後の展望(3)

- WOCWサイトリニューアル
  - シラバスシステムの改修に伴って、リニューアルを予定
  - より教材公開・検索を行いやすい仕組みの構築
- 「早稲田らしさ」の打ち出し
  - 早稲田大学ならではの遠隔共同授業や、図書館所蔵の貴重所など、独自資産を用いた教材の公開の推進
- プロモーションへの応用
  - 受験生や留学生確保に向けた広報媒体としての活用
  - 大学体験Webサイトコンテンツやアジアセミナー映像など、正規科目外の動画・資料等への柔軟な対応

Copyright (C) Waseda University Distance Learning Center. All rights reserved



早稲田大学  
遠隔教育センター  
dlc-staff@list.waseda.jp